ピープル・ツリーのソーシャル・インパクト・レビュー（社会的影響評価）

Be the Change !

変化の担い手になろう！

変化の担い手になろう！

ピープル・ツリーのフェアトレード事業が社会に与える影響についての評価レポート

目次

P. 3 ピープル・ツリーがソーシャル・レビューを実施する理由

P.4 私たちの使命

P.4 2006年ソーシャル・レビューに基づいてまとめた行動計画

P.5 生産者パートナーの声

P.9 イギリスのオピニオン・リーダーの声

P. 11 ピープル・ツリーのソーシャル・レビュー

P.13 生産者パートナーがIFAT加盟団体となるための支援

P.14 フェアトレードに対する生産者パートナーの意識と資質を高める

P. 14 ピープル・ツリーの業績

P.15 経済的に立場の弱い生産者に仕事の機会を提供する

P.17 透明性とアカウンタビリティ

P.19 資質の向上

P.23 フェアトレードの推進

P.25 公正な対価の支払い

P.27 男女平等

P.29 労働条件

P.30 児童労働

P.32 環境

P.33 貿易関係

ピープル・ツリーが「ソーシャル・レビュー」を実施する理由

ピープル・ツリー（フェアトレードカンパニー株式会社）は2006年9月、2年に一度の「ソーシャル・レビュー」を実施しました。ソーシャル・レビューの実施は2000年以降、第4回目となります。

ソーシャル・レビュー実施の目的は、生産者パートナー、お客さま、スタッフ、投資家といったすべてのステークホルダー（事業の関係者）にアンケートを通じてピープル・ツリーのフェアトレード活動を評価してもらい、その結果に基づいて事業が社会に与えている影響について評価することにあります。各ステークホルダー・グループの代表が集まって、アンケート調査の結果から明らかになったことについて話し合い、改善すべき点を分析し、どんな行動をとるべきか見極めます。ピープル・ツリーは、この結果を基に定期的に使命の対象となる分野を振り返り、フェアトレードの基準に照らし合わせて現地プロジェクトへの影響を把握・評価することで、自らの業績を評価することができます。

このレポートは、ピープル・ツリーの活動が社会に与えてきた影響について評価したものです。このレポートがフェアトレード運動にかかわる人達の役に立ち、またお客さまや生産者パートナー、サポーター、スタッフそして友人達にとって興味深い内容であることを願っています。ピープル・ツリーがこれまで成し遂げてきたことは、すべてのステークホルダーとの緊密なパートナーシップがあったからこそ実現できたのですから。

2007年10月

ピープル・ツリー代表　サフィア・ミニー

私たちの使命

1. 生産者パートナー

生産者パートナーの経済的自立と社会的な立場の向上を支援する。そのために継続的な安定した収入源となる仕事を供給しつづける。

2. 環境

商品の企画・生産、流通など、事業の運営のあらゆる局面で、環境保護に配慮する。

3. お客様

お客様の安心と満足を得るために、健康的で安全、そして魅力的な商品を、質の高いサービスとともに提供する。同時に、商品と生産者に関する背景の情報や、より環境と人にやさしい暮らしの情報を提供することで、国際的な社会貢献への参加を提案し、促す。

4. 私たち

ともに働く私たちのすべてが、能力を生かす平等な機会と、努力に見合った恩恵を得られるよう、知識や情報を分かち合い、協力し合う。

5. 広範に

あらゆる個人、企業、政策に向けて、生産者・消費者双方に公平で、環境保護に配慮したビジネスとしてのフェアトレードの成功の実例を示しアピールすることで、幅広く波及させるよう努める。

2006年ソーシャル・レビューに基づいてまとめた行動計画

1. お客さまとそのニーズについて、市場分析を含めた企画やマーケティング、販売戦略を改善する。これによりピープル・ツリーから生産者への発注量を増やす。

2. 仕事の効率を高め、在庫管理や販売促進活動を改善するための新ITシステムの導入。

3. 組織としての生産者の資質と技能の強化。手工芸品については、生産者に十分な時間を確保しつつ、生産者が販売の機会に応え収益性を高められるようにする。

4. 長期に活動を持続させるだけの収益をあげ、生産者への前払い、資質向上のための資金を支援できるパートナーを見つける。

アンケートを通じて得た生産者パートナーからの評価は、全般的に大変好意的で、ピープル・ツリーのデザインや品質フィードバック、支払への努力を高く評価しています。しかしながら、手工芸品の生産者からは発注量の拡大を求める声が多く挙がりました。これには販売促進や販売戦略の改善が必要です。
このために、必要な人材の採用、社内コミュニケーションの改善、全社的な職務分担の明確化などの実施を決定しました。

生産者パートナーの声
（ソーシャル・レビューのアンケートで寄せられたピープル・ツリーの評価）

【ABC順】

ACP （ネパール／手工芸品生産者）
「ピープル・ツリーの活動は単なるフェアトレードにとどまらず、数多くのフィードバック、教育、資質向上へと広がっています。ピープル・ツリーによって、私たちは世界各地の顧客と取引を行うことができるようになりました。製品の中に毛や針が見つかった時は、ACPで製品の検品ができるように検針器の購入を助成するなど、品質向上に手を貸してくれました。ピープル・ツリーと仕事をすることで、他の顧客への販売量も間接的に伸ばすことができました。ピープル・ツリーとの関係、パートナーシップに自信をもっています」／ミーラ・バッタライ（ディレクター）

アグロセル （インド／オーガニック・コットン農家支援組織）
「ピープル・ツリーは有機農法の発展と成長を支援してくれました。オーガニック・コットンを発注してもらえるおかげで、毎年多くの農家がアグロセルの有機農家グループに加わるようにようになりました。また、良質の綿花の開発にも積極的な役割を果たしてくれます」

アーティザン・ハット （バングラデシュ／衣料品生産者）
「以前はフェアトレード・ビジネスといえば慈善事業であり、不定期な注文や品質の低い製品が当たり前だと考えていました。しかしピープル・ツリーが私たちの考えを変えました。行動計画を示し、ビジネスとして取引し、質の高い製品を作っていくためのスキルを私たちに伝え、ビジネスを発展させていく望みを与えてくれました。また、製品の国内での市場を築いていく手助けをしてくれました。私たち生産者の収入は増えています。たとえば、はた織り職人の中には自分の貯金を使って手織りのビジネスを始めた者もいます。刺繍の作業は以前は自宅で行っていましたが、作業場を建て、高い賃金を払えるようになりました。貯蓄を使って土地を購入した女性もいます。刺繍グループの『バングラ・セライ・ワークショップ』で働く女性たちに、グループに加わってから自宅での評価が上がった人は、と尋ねると、ほとんどの女性が手を挙げました」
「ピープル・ツリーからの注文はアーティザン・ハットの総売上の約90%を占めています。はた織り、刺繍、縫製、染色の仕事で合計150人が仕事を得ています。村に伝統的なはた織り工房が復活、誇りも戻ってきました！」
／モンジュルル・ハク （代表）

バングラ・セライの刺繍職人

ベガ・クワ・ベガ　（ケニア／手工芸品生産者）
「ピープル・ツリーは天然素材への移行を開始してこれを支援してくれました。これは経済的にも環境上も貴重な変革であったと感じています」
「生産者はスキルを身につけ、ますます自立の度合いを高めています」

クラフツ・オブ・アフリカ　（ケニア／手工芸品生産者）
「私達にとってピープル・ツリーは普通のパートナー以上の存在です。ピープル・ツリーのチームは、職人が市場でよりアピールできる市場先導型の製品をどうすれば考え出せるかということに何より熱心です。これこそ私達や職人が向かうべき道です」／ピーター・ワホーム（代表）
【2006年実績】
●ピープル・ツリーの発注が総売上に占める割合＝48%
●ピープル・ツリーの発注により仕事を得た人の数＝183人

フォーク・バングラデシュ （バングラデシュ／衣料品生産者）
「もしピープル・ツリーが初めに私達を助けてくれなかったら、私達は生き残っていなかったでしょう。ピープル・ツリーが大きな手を差し伸べてくれたことに感謝しています」
「ピープル・ツリーが支払ってくれる金額は公正で、公正な方法で生産者の手に届きます。ピープル・ツリーにならって他のバイヤーも公正な代価を支払ってくれるようになりました。ピープル・ツリーの原価計算シート（製品の価格の内訳を示すシート）は、私達が公正な価格を算出するのに役立っています」
「ピープル・ツリーからの発注によって、フェアトレードの恩恵を受けている人の数が2年前の2倍の543人になりました。同様に彼らの収入も、この2年の間だけで1.5倍になりました。これによって、夫を亡くした女性や低収入の男性などが、子どもを学校に行かせ健康的な食事をとり、将来に備えて貯蓄できるようになりました」
／プロディップ・ゴメス （副代表）
【2006年実績】
●ピープル・ツリーの発注が総売上に占める割合＝60%

製品のパターンの細部について話し合うピープル・ツリーのデザイン・スタッフとフォークの担当者

クムベシュワール職業学校（KTS）　（ネパール／ニット衣料品生産者）
「KTSは貧しい子どもたちに無料で教育を提供し、社会的弱者である女性や体が不自由な人、未亡人が雇用の機会を得られるように職業訓練を提供しています。ピープル・ツリーからの注文によって私達は卒業生に仕事を提供することができ、教育を受けていない女性が自立して収入を得て生計を立てられるよう支援できます」
「ピープル・ツリーと仕事をすることで、私達はアゾ・フリー染料や天然染料を使うようになりました。ピープル・ツリーからのフィードバックやアドバイスに勇気づけられ、（ウールの他に）シルクなど独自の素材を使うようになりました。ピープル・ツリーは新たな質の高い製品の開発を強く後押ししてくれました」
「ピープル・ツリーの商品開発の支援には心から感謝していますし、満足もしています。ピープル・ツリーのデザインについてのアドバイスや品質についてのフィードバックは大事な要素となっています。私達の製品を国際的な市場に合うレベルまで引き上げる大きな助けとなりました」
【2006年実績】
●ピープル・ツリーの発注が総売上に占める割合＝50%
●ピープル・ツリーの発注により仕事を得た人の数＝452人

MCC　（バングラデシュ／手工芸品生産者）
「ピープル・ツリーの製品のデザインのアイデアは非常にレベルが高く、私達生産者は大変満足しています」
【2006年実績】
●ピープル・ツリーの発注により仕事を得た人の数＝583人

ミンカ　（ペルー／アルパカニット衣料品生産者）
「ピープル・ツリーは単にフェアトレード製品の販売を促進しているのではありません。コミュニティを発展させています」／ノルマ・ベラスケス（代表）
【2006年実績】
●ピープル・ツリーの発注により仕事を得た人の数＝323人

リーチング・ジ・アンリーチド（RTU）　（インド／手工芸品生産者）
「ピープル・ツリーは春夏と秋冬に定期的に発注してくれます。発注量は毎年増えており、私たちは継続的に職人に雇用を提供でき、彼らも収入をあげることができます」

サフィー・ハンディクラフト　（フィリピン／手工芸品生産者）
「環境にやさしい製品を開発し、適切な原材料を調達し、フェアトレードや環境基準に適合するような生産手法を考え出す手助けをピープル・ツリーはしてくれます。私たちはこのような発展を自分たちのものにし、他のバイヤーとの取引でも実践しています」
【2006年実績】
●ピープル・ツリーの発注が総売上に占める割合＝20%
●ピープル・ツリーの発注により仕事を得た人の数＝247人

SEDS　（バングラデシュ／手工芸品生産者）
「ピープル・ツリーはフェアトレードについて高い倫理観を持ち続け、生産者の幸せに大きな関心を寄せています」
「ピープル・ツリーはパートナーの考えや決断をいつも大切にしています」
【2006年実績】
●ピープル・ツリーの発注が総売上に占める割合＝40%

●ピープル・ツリーの発注により仕事を得た人の数＝120人

SHARE （インド／手工芸品生産者）
「ピープル・ツリーは製品を見るだけでなく、人も見ています。フェアトレードでない他のバイヤーにとって、人はどうでもよく、関心があるのは商品だけです」
【2006年実績】
●ピープル・ツリーの発注により仕事を得た人の数＝100人

サイレンス　（インド／手工芸品生産者）
「ピープル・ツリーからの注文によって、社会で最も立場の弱い身体の不自由な人たちが有給の仕事を得て尊厳ある生活を送ることができます（注：サイレンスは聴覚に障害のある人たちが働く作業所）。ピープル・ツリーは製品をメインストリームに売り込む手助けをしてくれます。みなさんのご協力やご支援がなくしてはできなかったことです」
【2006年実績】
●ピープル・ツリーの発注により仕事を得た人の数＝115人

タナパラ・スワローズ　（バングラデシュ／衣料品生産者）
「私達の製品を販売し、私達の開発活動を支援してくれる最良のパートナーです。ピープル・ツリーの支援によって、現在ではフェアトレードの恩恵を受ける人の数が2年前の2倍の150人になり、収入はこの1年半だけで1.5倍になりました。これからも続けてピープル・ツリーの商品を購入してくださるよう心から願っています。ピープル・ツリーはバングラデシュの農村にいる私達を支援しようと大変尽力してくれました。ピープル・ツリーが末長く栄えますように。私達の無二の親友です」／ライハン・アリ （代表）
【2006年実績】
●ピープル・ツリーの発注が総売上に占める割合＝53%
●ピープル・ツリーの発注により仕事を得た人の数＝201人

タラ・プロジェクト　（インド／手工芸品生産者）
「（ピープル・ツリーとの）仕事によって、私たちは品質の重要性について目覚めました。その結果、発注量は増えています」
「ピープル・ツリーはフェアトレードを約束しており、主流のバイヤーよりずっといいのです。継続的な支援、公正な価格の支払い、製品開発、環境に対する意識向上、そして職人たちが力を伸ばせるよう総合的な支援を提供してくれます」
【2006年実績】
●ピープル・ツリーの発注により仕事を得た人の数＝134人

※タラ・プロジェクトは、児童労働反対運動とフェアトレードを世界規模で広める大切なパートナーでもあります。

イギリスのオピニオン・リーダーの声
（2006年、ロンドンのピープル・ツリー5周年にあたって寄せられたコメント）

「ファッションの世界でそのシステムに挑もうとする人はめったにいない。そしてピープル・ツリーはその数少ない中の一つである」 ／ジョージ・モンビオット、ジャーナリスト兼活動家

「ピープル・ツリーはとてつもない会社よ。ピープル・ツリーのチームと会ってとても感銘を受けたわ。自分の専門をいかして事業を築きあげる手助けができることをとても嬉しく思っているわ」 ／ジェーン・シェファードソン

「ピープル・ツリーと協力していけることを心から嬉しく思っている。ピープル・ツリーの価値は私達の価値と波長がとても合っている。アクション・エイドと同様、貧しい人たちが貧困から抜け出す手助けとなる公正な貿易を通じて、ピープル・ツリーは貧しいコミュニティに正義をもたらすと信じている。消費者として私達が倫理感を持っているということを証明するチャンスだ」 ／リチャード・ミラー　イギリス・アクション・エイド、ディレクター

「人からひとへと、貿易のグローバル化を根底から再構築すること。これこそ21世紀に持続可能な世界を築きあげる鍵だ。これまでピープル・ツリーはその最も良いお手本となっている」
／ジェレミー・リフキン　環境NGO、「経済潮流研究所」(Foundation on Economic Trends)

「ピープル・ツリーはフェアトレードの商標にこだわっているだけではない。こだわっているのは公正に貿易をすること－そしてピープル・ツリーはそれを鮮かにやってのけている」／ミッシェル・ヨーク、New Internationalist Magazine誌

「ピープル・ツリーとのコラボレーションの始まりにとてもわくわくしている。高級路線の商品はフェアトレード・フォートナイトに合わせて2月末には店頭に並ぶ。現在店頭に並んでいるピープル・ツリーの商品によって、さらに巾広い顧客層を対象にフェアトレードの意識を広げていくことができる。このようなパイオニアとしてのブランドと共にエシカル・マーケット（倫理的なマーケット）がますます成長していく、その一端を担えることを楽しみにしている」
／クレア・ヘイマー、アクセサリー仕入れ担当、トップ・ショップ

「ピープル・ツリーのチームがやっていることは全くぶったまげるよ。人々が貧困の罠から抜け出すのを助けようっていうんだから。みんな応援して欲しいと思っているよ。ほんとに！」 ／ウェイン・ヘミングウェイ、デザイナー

「ピープル・ツリーは素敵な服のマーケティングを通じて快適な暮らしを推し進めている。ピープル・ツリーはオーガ

ニック・コットンや環境によい生産方法を用いて持続可能性を推し進めている。ピープル・ツリーは生産者にとって公正な取引を通じて社会的正義を推し進めている。ピープル・ツリーは正に21世紀の草分けともいうべき組織の一つで、この先進むべき道をみんなに示してくれている」
／スチュワート・ワリス、イギリスのシンクタンク、新経済財団「New Economics Foundation」ディクレター

「創造性と持続可能性を合わせ持つピープル・ツリーはそれ故に特別な存在であり、私達みんなをもっと持続可能な暮らしへと導いてくれる。ロンドンから誇りを持ってお祝いのおめでとうを送ります」
／ジェームス・ビドウェル、London Unlimited 社長

「ありがとう、ピープル・ツリーそして生産者のみなさん。ファッション産業にかっこいいフェアトレード・ファッションもありだ、と示すことができた。良識あるファッションに向けた世界的なうねりのきっかけになればうれしい！」
／リーヨン・スー、VOGUE NIPPON/元インターナショナル・ファッション・コーディネーター

「綿花栽培にかかわる農家全体の生活にとてつもなく大きな違いをもたらすからというだけでなく、環境保全にもたらす影響ゆえに、ピープル・ツリーのバングラデシュにおけるオーガニック・コットン・プロジェクトは大変重要だ。有機農法が土壌中の二酸化炭素レベルを高める最良の方法である（二酸化炭素が大気に放出され気候変動の問題を悪化させるのを阻む）、ということに人々が気づけば、フェアトレードの事例や有機生産は今よりさらに圧倒的な力をもつようになるだろう」
／ジョナサン・ポリット、Forum for the Future共同創設者、兼プログラム・ディレクター

ピープル・ツリーのソーシャル・レビュー

ピープル・ツリーはフェアトレードを実践する会社であり、貿易活動全般を通じ、生産者をはじめとするステイクホルダーとの間に公正なパートナーシップを築いていることに誇りを持っています。
ピープル・ツリーがソーシャル・レビューを行ったのは、今回で第4回目となります。2006年2月から5月にかけて各ステイクホルダーに対してアンケート調査を行い、その結果を基に同年6月、ステイクホルダーの代表が集まって討論しました。

ソーシャル・レビューは、フェアトレードの世界的なネットワークであるIFAT（国際フェアトレード連盟）の加盟メンバーが、フェアトレードの10の基準に即して活動しているかを相互評価するためのツールです。メンバー団体は2年に1度ソーシャル・レビューを実施してその結果をIFATのモニタリング委員会に提出し、審査を受けます。活動内容が適切と認められたメンバー団体は、「フェアトレード団体（FTO）」としてIFATから認定を受け、「FTOマーク」を付与されます。
ピープル・ツリーは1996年にIFATに加盟し、フェアトレードの10項目の基準を守っています。2003年にFTOマークの制度開始と共にマークを取得し、以来2年ごとに更新して認定を受けています。

FTOマーク

【フェアトレードの定義】—IFAT（国際フェアトレード連盟） www.ifat.org

フェアトレードとは対話と透明性、尊敬に基づく貿易パートナーシップであり、国際貿易においてより対等な関係を築くことを目指しています。特に「南」の国々の立場の弱い生産者や労働者の権利を守り、より良い取引条件を提供することで、持続可能な発展を促します。

フェアトレード組織やフェアトレード企業はその使命の核としてフェアトレードを約束しています。また消費者の支援のもと、生産者支援や啓発活動、従来の国際貿易のルールや慣習を変えるためのキャンペーン活動に積極的に取り組んでいます。このような団体にはFTO（フェアトレード団体）マークが付与され一般企業と区別できます。

フェアトレードは公正に貿易を行うことにとどまりません。世界貿易においてより大きな公正さが可能だということを証明してみせています。従来の貿易のルールと慣習を変える必要があることは明らかです。フェアトレードは、ビジネスがどのように人を優先しつつ成功することができるのかを示してくれるのです。

IFATの使命は、フェアトレード組織が連携して発展し、また国際貿易に公正さを広めるために声をあげること、それによって、立場の弱い生産者の生活や暮らしを向上させることです。世界60カ国の265以上（2006年10月現在）のメンバーが、連帯と相互協力のもとに団結し、第三のより公正なビジネスの方法を作り上げています。

【フェアトレードの基準】
IFATはフェアトレード組織が日々の活動の中で守るべき10項目の基準を設け、これらが守られているかどうか確かめるために継続的にモニタリングを実施しています。

1. 経済的に立場の弱い生産者に仕事の機会を提供する
フェアトレードは貧困の軽減と持続可能な発展のための戦略です。従来の貿易システムによって社会的・経済的に弱い立場におかれている生産者に仕事の機会を提供することを目指しています。

2. 透明性とアカウンタビリティ（説明責任）
フェアトレードは経営に透明性を持ち、貿易パートナーと公正に、互いを尊重して取引します。

3. 資質の向上
フェアトレードとは生産者の自立を育むことです。フェアトレードの継続的な関係を通じて、生産者や生産者のマーケティング組織は自らの経営能力を高め、新たな市場へのアクセスを高めることができます。

4. フェアトレードの推進
フェアトレード組織は、フェアトレードについて、そして国際貿易において公正さを広める可能性について啓発活動を行います。消費者に自分たちの組織や製品について、またどのような状況で製品が作られているのかという情報を提供します。偽りのない宣伝とマーケティング手法を用い、製品の品質や梱包については最高の基準を目指します。

5. 公正な対価の支払い
当該地域もしくは地方における公正な対価とは、対話と参加を通じて合意されるものです。生産コストをまかなうだけでなく、社会的に公正で環境に健全な生産を可能にしています。生産者に公正な支払いを行い、男女間の差別なく同等の仕事には同等の支払いをするという原則を考慮に入れます。フェアトレード団体はパートナーへの迅速な支払いと、可能な限り収穫や生産に先立って生産者が前払いを受けられるよう手助けします。

6. 男女平等
フェアトレードでは、女性の仕事が適切に評価され報酬を受けます。女性は常に生産プロセスへの貢献に応じた支払いを受け、組織の中で能力を高めます。

7・労働条件
フェアトレードは、生産者にとって安全で健全な労働環境を提供します。

8. 児童労働
フェアトレード組織は国連が定める子どもの権利条約、ならびに現地の法律や社会規範を尊重します。これは子ども達がフェアトレード商品の生産プロセスに参加しても（たとえあったとしても）、それが子ども達の健康や安全、教育、遊びの必要性に悪影響をあたえないと保証するためです。組織化されていない生産者と直接仕事をする組織は、生産に子ども達がかかわっている場合これを公表します。

9. 環境
フェアトレードは環境によりよい方法や責任ある生産方法の実践に積極的に取り組みます。

10. 取引関係　ーこの項目は2006年10月に加えられました。
フェアトレード組織は立場の弱い小規模生産者が社会的、経済的、環境的に快適な暮らしができるよう配慮して取引を行い、これらを犠牲にして収益の最大化を求めることはしません。団結と信頼、互いの尊敬に基づいて息の長い関係を続け、フェアトレードの促進と発展につなげます。また、可能な限り、生産者が収穫や生産に先立って前払いを受けられるよう支援します。

生産者パートナーがIFAT加盟団体となるための支援

ピープル・ツリーはフェアトレード・パートナーがIFATに加盟するよう支援しています。IFATは、加盟団体を基盤としてフェアトレードについての議論や推進のためのネットワークとしての役割を果たし、モニタリングや認証を行っています。

IFATに加盟を申請するには、既存の加盟団体2団体から支持を受けなくてはなりません。また、加盟団体になるとフェアトレードの基準を満たし、自らの活動について２年に一度ソーシャル・レビューを行い、年会費とモニタリング料を支払う必要があります。これは既存のフェアトレード組織にとっても財政的な力量が試される課題です。

ピープル・ツリーは、国際的なフェアトレード運動を行うためにIFATが欠かせないと考えています。しかし同時に、社会的発展やフェアトレードに誠実に取り組んでいる小規模生産者団体にとってIFAT加盟が障壁となりうることも認識しています。このため、ピープル・ツリーは小規模団体がIFAT加盟団体となれるよう資質向上の手助けをしています。

フェアトレードに対する生産者パートナーの意識と資質を高める

ピープル・ツリーは生産者パートナーとの緊密なパートナーシップと組織としての資質向上を通じて、フェアトレードの高い基準に向かって共に活動しています。

例えば生産者パートナーを対象にフェアトレードに関するワークショップを開き、フェアトレードのキャンペーン活動を行うよう働きかけています。また、生産者パートナーと協力して、フェアトレードの実際の体験をもとに、フェアトレードの基準の作成にも関わっています。これまでに、フェアトレード・コットンやフェアトレードによるアパレル生産の基準作り、環境によい生産方法を定める実践基準の設定に関わってきました。ピープル・ツリーは、オーガニック・コットンや草木染めなどの環境プロジェクトにおいてもパイオニア的存在です。

ピープル・ツリーは、母体組織であるNGOグローバル・ヴィレッジと共に、世界フェアトレード・デー（5月第2土曜日）開催を主導し、事務局を運営してきました。IFATの支援のもとで国際的イベントのウェブサイトを運営し、広報資料を提供することで、世界中のフェアトレード組織が世界フェアトレード・デーのイベントを企画できるよう支援しています。

ピープル・ツリーは高い目的意識をもち、情熱と真摯な取り組み、プロ意識を土台に最善のフェアトレードのモデルを示し、同時に世界規模のフェアトレード推進運動の最前線に立つことを目指しています。

ソーシャル・レビューに見る

ピープル・ツリーの業績

バングラデシュのMCCのメンバーとピープル・ツリーのチーム

経済的に立場の弱い生産者に仕事の機会を提供する

フェアトレードは貧困の軽減と持続可能な発展のための戦略です。従来の貿易システムによって社会的・経済的に弱い立場におかれている生産者に仕事の機会を提供することを目指しています。

（ IFATのフェアトレード基準－１ ）

ペルーのミンカの職人

ケニアのクラフツ・オブ・アフリカの職人

バングラデシュのMCC、ケヤ・パーム・ハンディクラフトの職人

1．経済的に立場の弱いグループを対象に

ピープル・ツリーの生産者パートナーは、貿易や社会の発展を通じて貧困との闘いに取り組んでいます。どのパートナーも例外なく、生産者の収入と生活水準の向上、社会福祉や経済的・社会的状況の改善、立場の弱い人たちやコミュニティの権利の拡大に向けて活動しています。

生産者パートナーの55%は民間組織の雇用創出プロジェクト、23%は社会開発団体、5%が援助団体、16%がフェアトレード組織もしくは社会的ビジネスを行う会社組織です。これらのパートナー組織は、農民や貧しい女性、先住民、身体が不自由な人たち、弱い立場にある若者や難民を代表しています。
またその他にも、高度な技術を持ちながら、市場へのアクセスがないため、機械による大量生産やグローバル化の波にのまれ、暮らしの基盤を失った職人たちもいます。

●2004～2006年にピープル・ツリーからの発注により仕事を得た人の属性（%）

立場の弱いグループ	生産者の割合
女性	82%
立場の弱い職人	56%
農村地方の小規模団体	82%
身体的な障害/知的障害/ハンセン病患者や小児麻痺に罹った人、エイズ感染者	8%
スラム居住者	1%
不利な立場にある若者	2%
先住民族のコミュニティや集団	8%

社会の中で明らかに立場の弱いグループの一つが女性です。ピープル・ツリーの生産者パートナーは、女性向けのトレーニングや収入の機会の提供、女性の社会進出を支援するプロジェクトに力を入れています。生産者パートナー団体の経営陣の57%が女性です。

2.. 雇用の機会をつくる

ピープル・ツリーはより多くの人に仕事を提供できる手仕事の生産に力を入れています。手仕事の生産は資本集約的でないため、インフラの整っていない農村地域でも仕事の機会をつくることができます。職人が技能を高め持続可能な暮らしを送れるよう、ピープル・ツリーはデザインや品質に関するトレーニングを提供しています。
ピープル・ツリーからの注文によって雇用の機会が増し、パートナー組織の基盤が強固になっています。フェアトレードによって人々は力を合わせ貧困の原因について話し合い、これを克服するすべを見出すことができます。

下記の表が示すように、2004年（第3回ソーシャル・レビュー実施時）から2006年にかけて、ピープル・ツリーからの発注によって恩恵を受けた人の数が大きく伸びました。なお、ピープル・ツリーからの発注は、日本（フェアトレードカンパニー株式会社）とイギリス（ピープル・ツリー・リミテッド）それぞれからの発注の合計です。

この増加が顕著だったのは衣料品の生産者です。ピープル・ツリーからの注文によって仕事を得た生産者の数は、2004年から2006年にかけて72%増加しました。手工芸品と食品の生産者では53%の増加でした。

●ピープル・ツリーの発注によって仕事を得た生産者の数（衣料品生産者団体）

	生産者の数*1	間接的受益者の数*2
2004年	957.0	4,785.0
2006年	1,650.4	8,251.8
2004年/2006年	172%	

*1： 仕事を得た日数を基に、年間でフルタイム換算にした人数
*2： 生産者一人につき5人が扶養されているとして算出

●ピープル・ツリーの発注によって仕事を得た生産者の数（手工芸品生産者団体と食品生産者団体）

	生産者の数*1	間接的受益者の数*2
2004年	779.8	3,899.0
2006年	1,192.5	5,963.0
2004年/2006年	153%	

*1： 仕事を得た日数を基に、年間でフルタイム換算にした人数
*2： 生産者一人につき5人が扶養されているとして算出

透明性とアカウンタビリティ

フェアトレードは経営に透明性を持ち、貿易パートナーと公正に、互いを尊重して取引します。

（IFATのフェアトレード基準－2）

2006 年 11 月に市場体験プログラム（Market Exposure Program で来日したネパール・KTS のキラン・カドゥギとギータ

ピープル・ツリーのカタログを見るシスター・ベッツィーとアシシ・ガーメンツの職人

2005年11月のMEPで来日し、アルパカの糸紡ぎの実演を披露するペルー・ミンカのニット職人ダニー・アパサ・クティパ

1．モニタリング

ソーシャル・レビューとは別に、ピープル・ツリーは継続的に生産者パートナーの状況をモニターしています。ピープル・ツリーは長年にわたって生産者と共に活動し、緊密で誠実な関係を築いています。ピープル・ツリーのチームが生産者パートナーを訪問するときは、プロジェクトの現場である村に滞在します。

2．生産者の市場体験プログラム（MEP: Market Exposuer Program）

ピープル・ツリーの姉妹組織である「グローバル・ヴィレッジ」は、生産者の代表や職人が日本の市場について学び顧客との交流を持つ機会を提供する「市場体験プログラム」(MEP)を実施しています。毎年、2～3団体から4～6名が来日します。このプログラムは、生産者が日本の家庭を訪問したり、一般の店舗や商業施設を見学することで文化や習慣の違いを理解し、品質やデザインの向上に役立てる手助けとなります。

●2006年5月のMEPに参加した、バングラデシュ・スワローズのライハン・アリとマハムダ・ベグム・ギニーのコメント：

> 「ピープル・ツリーを訪ね世界フェアトレード・デーに参加できたことは、貴重な 体験となりました。日本のみなさんと、農村の女性 がフェアトレードにかかわるようになった経緯や、フェアトレードが女性や家族に及ぼしたプラスの影響について、特に女性や子どもたちが高等教育や医療を受けられるようにするための支援活動や家庭内暴力反対運動について、分かち合うことができました」

3．生産者パートナーシップ協定

ピープル・ツリーは、生産者パートナーとの間で2種類の協定を結び、生産者との関係維持を約束しています。協定を定期的に更新することで、慣習を改善したり、変化しつつあるパートナーのニーズに合わせて支援方法を見直す機会が得られます。

●主要生産者協定

これは3年間の取引関係を約束する協定で、これまで29のパートナーと協定を交わしています。生産者パートナー団体の売上の大部分をピープル・ツリーからの注文が占め、5年以上の取引関係がある場合、主要生産者協定を結びます。ピープル・ツリーはその後3年間の行動計画を作成し、パートナー団体にフェアトレードの影響が浸透するよう手助けをします。

また、フェアトレードの基準を遵守した取引関係に加えて、以下のような支援を提供します。

- 商品開発とデザインや品質・技術の支援
- 市場体験プログラムへの参加
- 環境によい生産方法や材料の調達に対する支援
- 組織としての資質を向上させるための支援

主要生産者協定を結んでいる生産者パートナーに対し、ピープル・ツリーは発注量が過去3年間の平均の75%を下回らないことを約束し、できる限り毎年発注量を10%伸ばす努力をします。
主要生産者団体に対するピープル・ツリーの発注実績は、2005年から2006年に平均で18%で伸びています。最も発注額の大きい衣料生産者に対しては、発注額は58%伸びました。

●標準生産者協定

1年間の協定で、21の生産者パートナーと協定を交わしています。この協定によって、ピープル・ツリーはパートナーとフェアトレード基準を満たした取引を約束し、商品開発や技術支援を提供します。

標準生産者団体に対するピープル・ツリーの発注は、2005年から2006年に平均で25%伸びました。その大半が手工芸品の生産者です。

4. 透明性の確保

ピープル・ツリーは、パートナー団体の元でどのような人々が製品を作っているかチェックし、パートナー団体に製品の価格（FoB価格）に占める原材料や人件費、輸送、事務、収益・輸出書類の費用の内訳を開示することを求めています。これは正確な原価計算と透明性の推進に役立ちます。

5. 消費者に対する生産者の情報の伝達

ピープル・ツリーは生産者の情報について、ホームページや通信販売カタログの記事に掲載しています。また、グローバル・ヴィレッジは生産者を日本に招待し（前述の「2. MEP」参照）、イベントやセミナーの場で消費者と直接触れ合える機会をつくっています。

また、グローバル・ヴィレッジでは、年に1回程度「インド・スタディー・ツアー」を実施し、スタッフや一般参加者が生産者団体や現地NGOを訪れています。また月に一度、ピープル・ツリー自由が丘店で「フェアトレード・ワークショップ」を開催し、来日した生産者や、現地に出張したピープル・ツリーのスタッフをスピーカーとして現地の情報を伝えています。

資質の向上

フェアトレードとは生産者の自立を育むことです。フェアトレードの継続的な関係を通じて、生産者や生産者のマーケティング組織は自らの経営能力を高め、新たな市場へのアクセスを高めることができます。

（ IFATのフェアトレード基準－３ ）

ネパールでの品質管理ワークショップ

インドのブージで伝統技術を使った商品を開発

1. ピープル・ツリーの資質向上の活動

ピープル・ツリーのフェアトレード・パートナーシップは、長期的関係を保ちパートナーの資質向上をはかるために必要な手助けをすることを土台としています。具体的には、デザインの提供や技術支援、経営能力の向上、品質とトレンドに関するワークショップの開催、市場体験プログラム（MEP）、相互目標の設定とフェアトレードのための資質向上などです。**生産者の71%が、ピープル・ツリーによる資質向上の活動に満足していると回答しています。**

ピープル・ツリーは、バングラデシュの「ECOTA」やネパールの「フェアトレード・グループ・ネパール」といった国レベルのフェアトレード推進ネットワークと共同で、品質向上や価格決定に関するワークショップを定期的に開いています。その結果、地元の生産者団体のネットワークが強固になり、体験を分ち合いながらフェアトレードを推進することができます。

- **技術の向上と知識の移転**
  技術を向上させれば生産者は市場の期待に応えることができます。技術向上と公正な対価の受け取りによって、生産者は誇りと自尊心を得ることができます。

- **市場体験プログラム（MEP）**
  MEPは、生産者団体の代表やマーケティング担当者、職人チームのリーダーなどが、日本の市場や流通、競合について学び、売れ行きが良く継続的に受注できる製品を作る手助けとなっています。

●ネパール、KTS　からのコメント

「MEPの期間中、私たちは多くの日本人バイヤーに会いました。個人的に話をする機会もあり様々な意見を聞きました。このような声を受け止め、本当に必要としていた製品の品質向上を近い将来実現し、売上げを40%伸ばしていくつもりです」

2. 市場アクセスの提供

ピープル･ツリーが、非常に質の高いデザイナーや技術者と協力して活動していることにより、製品が市場で確かな競争力をつけていると生産者は報告しています。生産者はピープル･ツリーのデザインの要求に応え、サンプルを作り、高品質の原材料を調達し、正確なコスト計算や品質管理の能力を高めています。これによって、新たな市場にアクセスし、フェアトレードでない製品とも競争力を持てるようになります。

生産者パートナーによっては、海外からの注文による収益だけでなく、国内販売でも収益をあげています。そのひとつがアーティザン・ハットです。アーティザン・ハットの手織りグループの一つ、シュヴォ・ウィービングは手織り製品の80%を国内で販売できるまでになりました。ピープル・ツリー向けに高品質の織物を生産していることが、メディアや政府関係者に認められた成果です。

ピープル・ツリーとグローバル･ヴィレッジによる「世界フェアトレード・デー」の推進運動やフェアトレードのキャンペーン活動は、生産者にとって良い刺激となり、自らも生産者や企業、政府、メディアなどの支援を得てイベントを開催し、知名度を上げる一助になった、と生産者は報告しています。

●ネパール、ACPからのコメント

「ピープル・ツリーと仕事をするようになって、私たちはこれまで以上に製品の細かなところまで気を配るようになり、品質に対する意識も高まりました。このことは当然ながら他のバイヤーとの取引においても私達の強みとなっています。また、ピープル・ツリーが相当な商品開発を行ってくれた効果で、他からの受注にもつながっています」

3. フェアトレードの資質向上

ピープル・ツリーは通常、現地のフェアトレード組織と共に活動し、小規模の生産者団体に対してフェアトレードの基準に適合できるよう資質向上を支援しています。バングラデシュで2004年に発表した、フェアトレード･ファッションに関する「ダッカ宣言」は、衣料品の生産に対するフェアトレード基準を設定する一助となりました。

ピープル・ツリーは、グローバル・ヴィレッジを通じて生産者団体の社会的プロジェクトに対して助成金や融資を提供しています。ピープル・ツリーの生産者パートナー団体は、それぞれの地域で次のような社会開発プログラムを実施しています。

・医療支援　・女性の自助グループ　・所得多様化のための訓練　・識字プログラム
・衛生と保健プログラム　・少額融資/貯蓄スキーム　・社会的意識と権利のための運動
・栄養に関する教育　・家族計画　・保育/託児　・低コスト住宅　・教育支援
・災害救援　・法的支援　・安全な飲料水へのアクセス　・リーダーシップ研修

子ども達の教育支援を行っているとの回答がなかったのは、55団体のうち7団体に過ぎませんでした。これらは非常に小規模な団体で、バイヤーは少なくピープル・ツリーからの発注も少額です。大多数の生産者団体は、生産者の子ども達の教育のために資金や教材を支援しており、独自に学校を運営している団体もあります。

●バングラデシュのスワローズに助成金を提供し、働く母親のために36名の乳幼児を預かる託児所の建設を支援しました。

●バングラデシュのアーティザン・ハットでは、20人のはた織り職人の労働環境改善に向けて、寄宿舎と食堂の建設を支援しました。

1. ●バングラデシュのジャハナラ・コテージ・インダストリーは、地方の女性グループからダッカの本部オフィスに竹で編んだかご製品を輸送する際の問題を抱えていました。以前は製品を地元のバスで運んでいたため、製品が輸送中に損傷することがありました。そこで輸送用の小型トラックを購入できるように、グローバル・ヴィレッジよりジャハナラに無利子で3,000ドルを融資しました。

ピープル・ツリーは、IFAT加盟団体として活発に活動しています。生産者パートナーがフェアトレード組織として資質を高められるようIFATに加盟するよう働きかけ、実現に向け支援しています。また、すべての生産者パートナーに IFATのフェアトレード基準を守るよう求めています。
ピープル・ツリーの生産者パートナー団体の72%は IFATもしくはIFATの地域組織であるアジアのAFTFやアフリカのCOFTA、中南米のIFAT LAに加盟しており、残る28%のうち9つの団体は現在 IFAT加盟申請の手続きをしています。

4. 商品開発とデザインを通じた資質の向上

ピープル・ツリーは、世界のフェアトレード組織の中でも最大の商品開発チームをもっており、毎年1,000アイテム以上の製品が生産者との協力のもとで開発されています。生産者の伝統技術を活かし、現地のデザイナーとも連携して新しいデザインの開発に取り組んでいます。
生産者は、ピープル・ツリーのデザインや商品開発の支援に非常に満足しており、受注につながっていると評価しています。一方、新しい製品を作るには専門的な技術レベルを上げる必要があるという生産者もいます。
商品のライフ・サイクルは6～24ヶ月と比較的短いため、ピープル・ツリーは絶えず新商品を開発しなくてはなりません。これは、生産者の組織としての資質の強化につながります。トレーニングを受けたデザイン専門家がいない小規模団体にとっては非常に困難な課題となりますが、全般的に生産者団体は、受注を増やし長期的に売上を維持するために商品開発への投資に意欲的です。

●ケニア、クラフツ・オブ・アフリカからのコメント
「ピープル・ツリーは私達にとって大事な貿易パートナーです。意見交換を通じて新しいデザインを作り出すことができました。私たちはピープル・ツリーの先見性のある人たちとつながりをもっていることを非常に誇りに思っています」

●インド、サイレンスからのコメント
「継続的な生産開発支援によって、私たちはより大きな市場を手にすることができます。ピープル・ツリーからのアドバイスの提供によって、私達の生産者の自信や精度、品質、熱意が高まりました」

●バングラデシュ、MCC ジョバルパール・エンタープライズからのコメント
「ピープル・ツリーの製品やデザインのアイデアの水準は非常に高く、.大変満足しています」

5. 環境にやさしい生産に向けた資質向上

パートナー生産者と共に環境にやさしい生産方法を開発することも、生産能力の向上における重要な点です。
ピープル・ツリーの環境ポリシーは、生産者に対して環境にやさしい製品を発注し、それに応えられるよう生産者の資質を向上させる手助けをすることです。ピープル・ツリーは、できる限り現地で原料を調達できる自然素材を使うことや、リサイクル原料などを活用して資源を守ること、アゾ・フリー染料を使うこと、排水やゴミを責任をもって処理することなどで環境守っています。
ピープル・ツリーは、衣料品の原料にオーガニック・コットンを使うよう、原料の供給プロセスにも参加しました。また、そのために研修やワークショップを開催して、関係する技能についての情報を伝えこれを移転させようとしていま

す。また、生産者パートナー団体が環境にやさしい原料や生産方法をとり入れられるよう、投資や支援を行っています。

※詳しくは、環境の章を参照のこと

●ピープル・ツリーは、インドのRTUに対し、手織りタオルにオーガニック・コットン糸を使う可能性を探るよう働きかけました。ピープル・ツリーは現地のオーガニック・コットンのサプライヤーとRTUとの仲立ちをし、調査や生地の開発を手伝いました。

●また、ピープル・ツリーは麻の手縒り紐を作るバングラデシュの女性グループ、バグダ・エンタープライズに対し、染色に草木染め使用するよう働きかけました。バグダの草木染め製品は、ボディ・ショップのような大口の顧客も購入するようになりました。

6. 資質向上の成果

- **収入の向上**
  ソーシャル・レビュー回答には、生産者の収入が国内の同等の仕事と比較して2倍になったとの報告や、一日一度であった食事が一日三度とれるようになったり、良質の住宅を借りられるようになった家族の例が報告されています。また、土地を買って家を建てた人や、子どもに教育を受けさせる余裕ができ将来に備えた貯蓄をすることができるようになるなど、これまでは考えられなかった変化が起きています。

- **自尊心**
  自らの力で生計をたてることによって、生産者はお金では買えない強い自尊心や自信、誇りを得ることができます。これまで性別やカースト制の名残である階級、民族、身体の障がいなどを理由に差別を受け、権利を否定されてきた人びとが、力を得ることができるのです。

●バングラデシュ、MCC　ジョバルパール・エンタープライズからのコメント
「私達の生産者は貧しいのですが、私達のグループに加わってからは一日三食とることができるようになり、子ども達は学校に通っています。社会の中で名誉ある居場所ができたのです」

●ケニア、ベガ・クワ・ベガからのコメント
「生産者は技術の習得と共にますます自立の度合いを高めています」

フェアトレードの推進

フェアトレード組織は、フェアトレードについて、そして国際貿易において公正さを広める可能性について啓発活動を行います。消費者に自分たちの組織や製品について、またどのような状況で製品が作られているのかという情報を提供します。偽りのない宣伝とマーケティング手法を用い、製品の品質や梱包については最高の基準を目指します。

（ IFATのフェアトレード基準－４ ）

香港で開かれたWTO（世界貿易機関）閣僚会議に合わせて開催されたフェアトレード・フォーラムに参加

香港で行ったフェアトレード・ファッション・ショー

バングラデシュで行われた第3回フェアトレード資質向上会議で、ピープル・ツリーの仲介で対面した労働組合リーダーのアミン氏（右）とECO貿易協定のディレクター、アーシャド氏

1．世界フェアトレード・デーの推進

2002年、ピープル・ツリーとグローバル・ヴィレッジはIFATへの働きかけにより世界のIFATメンバー団体が参加する「世界フェアトレード・デー」を立ち上げました。以降、世界フェアトレード・デーの国際事務局を運営しています。このイベントは、グローバルなフェアトレード運動の年中行事の要となっています。フェアトレードの知名度を高める機会を提供していると、生産者パートナーは総じてこのイベントを評価しています。フェアトレード組織にとっては、著名な講演者や篤志家を招待する機会にもなり、メディアに大きく取り上げられる材料にもなります。

世界フェアトレード・デーをきっかけに、フェアトレードの価値が改めて取り上げられ、伝統技術やパートナーシップ、業績をたたえあう機会が生まれています。また北でも南でも、フェアトレードのパイオニア企業を支援し、IFATのFTOマークを広め、フェアトレード製品の購入を促進しています。世界で行われるイベントの数は毎年増加しており、世界フェアトレード・デーのウェブサイトにも掲載されています。

2．フェアトレードを政府やビジネス界、一般市民に広める

ピープル・ツリーは2005年12月、香港で開かれた第6回WTO閣僚会議の代表団に向けて、フェアトレード・ファションの成功を証明してみせました。WTO貿易交渉が閉鎖された会場で行われ、外では抗議デモが行われる中、ピープル・ツリーのファッション・ショーは、WTO会議場の向かいで3日間開催された「フェアトレード・フェアー＆シンポジウム」の目玉となりました。インドのカマル・ナート商務大臣のスピーチで幕を開けたファッション・ショーの焦点は、フェアトレード・コットンです。IFATは、年間30億ドルを超える米国の綿花農家への助成金が、途上国の綿花農家を弱体化させていることに対し、IFATの立場を表明するポジションペーパーを発表しました。

ピープル・ツリーとグローバル・ヴィレッジは、日本の一般市民にフェアトレードを広めるため、年間を通じて多彩な活動を行っています。

●世界フェアトレード・デーの他にも、フェアトレードについて数多くのセミナーを開催し、また、大学やNGOから招待を受けて、年間10回以上、フェアトレードについて講演を行っています。

●東京のピープル・ツリー自由が丘店では、毎月フェアトレードやその他の問題（環境、児童労働など）についてワークショップを開催。

●アース・デーやアフリカン・フェスティバル、グローバル・フェスタ、ap bankフェスなど、年間10以上のイベントやフェスティバルに参加しています。

●ピープル・ツリーとグローバル・ヴィレッジのホームページで、最新のフェアトレード関連のニュースやレポートを掲載しています。

●グローバル・ヴィレッジは、フェアトレードや環境問題への意識を高めるために「エコ・メッセージ＆デザイン・コンペ」を毎年開催しています。

ピープル・ツリーの活動は幅広く報道され、それによってフェアトレードの知名度が上がっています。2004年にピープル・ツリーの創立者、サフィア・ミニーがスイスのシュワブ財団によって世界で最も傑出した社会企業家の一人と認められたことにより、ミニーはフェアトレード推進の先駆者として知られるようになりました。ミニーは、シュワブ財団の招きで毎年参加する「世界経済フォーラム」でビジネス界のトップたちと会合を重ね、フェアトレードへの理解と協力を引き出しています。

公正な対価の支払い

当該地域もしくは地方における公正な対価とは、対話と参加を通じて合意されるものです。生産コストをまかなうだけでなく、社会的に公正で環境に健全な生産を可能にしています。生産者に公正な支払いを行い、男女間の差別なく同等の仕事には同等の支払いをするという原則を考慮に入れます。フェアトレード団体はパートナーへの迅速な支払いと、可能な限り収穫や生産に先立って生産者が前払いを受けられるよう手助けします。

（ IFATのフェアトレード基準−5 ）

バングラデシュ、アクション・バッグの縫製職人。自作のバッグと共に

バングラデシュ、ケヤ・パームで手工芸品を作る女性

バングラデシュ、タナパラ・スワローズ代表のライハン・アリ氏

●バングラデシュ、フォーク・バングラデシュからのコメント

「ピープル・ツリーが公正な対価を公正な方法で支払ってくれることに私たちは大変満足しています。ピープル・ツリーの前例のおかげで、今では他のバイヤーからも公正な対価を払ってもらえます。ピープル・ツリーのリクエストにより作成する原価計算シートは、公正な対価を得る助けとなっています」

公正な対価を支払ってもらえるため、平均して生産者は地元の同等の仕事で得られる平均日給の2倍の賃金を得ています。また、技能を磨き、職場の設備が整い、生産性が向上し、より良い環境活動を行えるようになるなどの恩恵を受けています。ピープル・ツリーからの継続的な発注と支援の賜物です。

また、生産者は発注時に50%を前払いするというピープル・ツリーの方針の恩恵も受けています。これによって生産者団体は原材料を購入し、生産者にすぐに賃金を支払うことができます。ピープル・ツリーはパートナーへの発注量を毎年増やす努力をしていますが、これによってコミュニティの他の人々にとってもトレーニングの機会が生まれ、生活費がまかなえる仕事が増えました。

1. 公正な賃金の水準

・ ピープル・ツリーのアジアのパートナー団体の生産者の一日当たりの賃金は、平均してその地域の同等の仕事の賃金の197%、中南米のパートナーでは平均賃金の169%、アフリカでは199%です。

・ 国別に見て、地元の平均賃金と比較して賃金が一番高いのはインドのパートナー団体で、生産者の賃金は地元の平均賃金の258%です。

・ バングラデシュでのタナパラ・スワローズでは、地元の平均賃金の568%が生産者に支払われています。

・ ピープル・ツリーのパートナー団体の生産者の平均日給は、3ドル30セントです。

２. 生産者の満足度

ピープル･ツリーが支払う対価や支払い方法に満足しているかとの質問に対し、パートナー団体の78%が公正な価格で満足していると、7%が不満だと答えました。不満の主な要因は、受注量が少なく生産の効率を上げられないためです。

●ピープル･ツリーの公正な対価の実現に対するパートナー生産者の満足度

・満足　78%　　・ふつう　5%　　・不満　7%　　・データなし　10%

●最終支払いの迅速さに対するパートナー生産者の満足度

・満足　82%　　・ふつう　2%　　・不満　2%　　・データなし　14%

生産者は全体として、ピープル・ツリーがフェアトレードの基準を順守していることに最も満足しています。
満足度を問う質問全体では、最終支払いや価格設定、前払いに対する満足度が最も高くなりました。ピープル･ツリーが前払いをタイミングよく行っているため、生産者は地元の金融機関からの借り入れに頼らずに済み、年間18%以上の借入金利息のコストを削減することができました。

男女平等

フェアトレードでは、女性の仕事が適切に評価され報酬を受けます。女性は常に生産プロセスへの貢献に応じた支払いを受け、組織の中で能力を高めます。

（ IFATのフェアトレード基準-6 ）

1. 女性の地位向上

ピープル・ツリーのパートナー団体では生産者の80%以上が女性です。女性たちは社会的選択肢や経済力を高めています。自ら収入を得て研修で力を伸ばし、自信を得ることで、女性たちは職場やコミュニティで指導的役割を担うようになり、社会における男女平等や女性の権利を推進する力となります。

ピープル・ツリーのパートナー団体では、女性がさまざまな形で力をつけています。

- 弁護士が女性の権利や家庭内暴力反対運動についてのトレーニングを行っています。
- 学校を運営し、女児の教育を支援しています。
- はた織りのような、伝統的に男性中心の産業においても、女性は一歩前に出て挑戦しています。

●バングラデシュ、MCCアクション・バッグ からのコメント

「生産者の生活水準は向上し、コミュニティの中で尊厳を高めています。子ども達は女の子であっても今ではより質の高い高等教育を受ける機会を与えられています」

●ネパール、KTS からのコメント

「生産者の家族、特に女性はこれまで以上にパートの仕事につくようになりました。そして経済力を手に入れました。フェアトレードは家族や社会の中の女性の地位向上に役立っています」

2. 機会の平等

ピープル・ツリーのパートナー団体では、女性が意思決定プロセスにかかわっています。生産者は例外なく男女の区別なく平等な賃金を受け取っています。パートナー団体の経営陣は57%が女性です。

3. 女性の地位向上の成果： バングラデシュ、スワローズからの報告

- 10代の少女の早期結婚が減りました。早婚はバングラデシュの地方の大きな問題の一つで、出生率が高く、乳児死亡率も高く、若い母親の健康状態も良くありませんでした。

- 伝統的なイスラム社会の慣習である一夫多妻婚が減少しました。女性が経済力を得るようになると、彼女らは一夫多妻制に強く反対し、結果としてこの制度は社会的に受け入れられなくなりました。

- 女性が家庭の中で意思決定権をもつようになりました。かつては、食糧や衣料の購入、子どもの教育、子どもの結婚、家計の使い道など、すべての決定を男性が下していました。

- 女性が移動の自由をもつようになり、自分の意思で親戚を訪ねたり市場に行けるようになりました。

- 伝統的に女性たちは食事を用意し子どもの世話をする責任を全面的に負い、休みなしの生活を送っ

ていましたが、今では職場でおしゃべりをして笑って人生を楽しんでいます。

- 女性たちは自分たちが暮らす地域の政治的・社会的状況や環境問題について知識を持つようになり、コミュニティや家族について適切な判断を下せます。

- 女性の識字率や数学の基礎知識はますます高まっており、家畜の飼育や野菜 栽培など、独自に小規模の事業を始めることができます。

- 女性たちは、家庭内暴力や児童売買についての啓蒙プログラムなど、法的支援サービスを請けることができます。

- 女性たちは、自分や娘がスワローズでの仕事を通じて築きあげたものに誇りを持っています。中には政治の世界に入り、地方のコミュニティを支援するため女性や子どもが満足できる政策を立案している人もいます。

労働条件

フェアトレードは、生産者にとって安全で健全な労働環境を提供します。

（ IFATのフェアトレード基準-7 ）

収入と経済力が向上すれば、生産者は職場をより良くするために投資を行う余裕がでてきます。そうすれば健全で十分な照明があり、健康や安全面の基準を満たすような職場が実現します。以下はフェアトレードがどのように違いをもたらすことを可能にしたかを示すものです。

●バングラデシュ、アーティザン・ハットの作業所と寮

アーティザン・ハットの手織りグループのひとつ、シュヴォ・ウィービングでは、はた織り職人たちが暗く窮屈な作業所で仕事をしていました。しかも、職人の多くが遠くから仕事に通っており、自分たちのはた織り機の横に寝泊りしていたのです。ピープル・ツリーは生地の開発から始め、発注量を増やすことで、作業所の改築のためのローンを支援しました。
また、職人たちが平日泊まるための寮と、自炊するための台所の建設資金の一部を、グローバル・ヴィレッジから助成しました。

> 「働くにも泊まるにも大変快適な場所です。しっかり休息がとれます。週末に家族に会えるのを楽しみにしています。照明も明るく扇風機もあります。近郊から大勢のはた織り職人が私たちのところに見学にやってきて、自分たちの上司に職場の改善を働きかけるようになりました」ーシュヴォ・ウィービング、はた織り職人

●バングラデシュ、スワローズの託児所

2006年9月、スワローズはピープル・ツリーとグローバル・ヴィレッジから4,000ドルを受け取りました。乳児や就学前の子ども達の託児所を開設するためです。大半の生産者が女性であるスワローズでは、幼い子どもを持つ母親が働くのは大変でした。新しくできた託児所には、資格をもった教師が6人と子ども達の面倒を見るアシスタントがいます。小さな赤ん坊を預けている母親は、一日3回強、授乳に立ち寄ることもできます。

> 「以前は息子を母に預けて大急ぎで仕事にかけつけていました。母は年をとっており自宅の近くには大きな犬がいたので、息子は自由に家を出られませんでした。託児所ができてからは安心です。息子は託児所をとても楽しんでおり、金曜（休日）でも託児所に連れていってとせがむんですよ！託児所があってとても助かっています」ークシダさん（2才の息子をもつ母親）

ピープル・ツリーとスワローズとの関係は10年になります。現在ではピープル・ツリーはスワローズの売上の53%を占めています。この10年の間に生産部門は大きくなり、200人の女性を雇用しています。スワローズでは作業所を広げるために2階の増築を計画しており、ピープル・ツリーは8万ドルの発注を約束しました。増築は2007年に開始し、2008年初頭には完成する予定です。

児童労働

フェアトレード組織は国連が定める子どもの権利条約、ならびに現地の法律や社会規範を尊重します。これは子ども達がフェアトレード商品の生産プロセスに参加しても（たとえあったとしても）、それが子ども達の健康や安全、教育、遊びの必要性に悪影響をあたえないと保証するためです。組織化されていない生産者と直接仕事をする組織は、生産に子ども達がかかわっている場合これを公表します。

（IFATのフェアトレード基準−8）

インドの児童労働
一般の業者向けにアクセサリーや小物を作っている

ピープル・ツリーは児童労働に反対し、親が子どもを働きに出すのでなく学校に通わせられるようにフェアトレードを推進しています。児童労働が行われるのは、大人の1/3の賃金で働く安い労働力として必要とされるからです。大人たちの生活を向上させることで、児童労働が必要とされる状況を根源から解決しようとしています。
大人、特に女性がフェアトレードの条件下で働く機会を得るようになったので、家族の経済状況がよくなって食事や住宅が改善され、食べていけるようになったため子ども達を働かせなくてもすむようになりました。

フェアトレードは、女性やコミュニティの社会的発展を支援し環境保護を推進するので、子ども達は自分たちが育つ環境やコミュニティがより健康的になることで恩恵を受けます。

フェアトレード組織は、子ども達が学校が終わった後に料理や家事など家族のお手伝いをする「子どもの仕事」には反対していません。途上国の多くの家庭ではそれが現実の姿だからです。
2007年の世界フェアトレード・デーのテーマとなった「未来をつくるフェアトレード：Kids need Fair Trade」は、パートナー団体の生産者の子ども達に、強制労働で働かざるを得ない子ども達についてどう思うかインタビューするという貴重な機会を与えてくれました。

ピープル・ツリーはパートナーの経営陣と強力な関係を築いており、子どもを雇用しないことを確認しています。パートナー団体は定期的に現地を訪ね、児童労働についての意識を高め、子どもを学校に通わせることがどれほど大事か生産者に訴えています。

●インド、タラ・プロジェクトとのパートナーシップ

ピープル・ツリーは児童労働や不公正な貿易を生む経済システムに反対し、子どもの権利を守るためにインドのタラ・プロジェクトのようなパートナーと共に活動しています。
2006年7月、ピープル・ツリーは「みんなでスポーツ」キャンペーンを行い、タラ・プロジェクトが支援しているスラム地

域の子どもたちにスポーツ用品を贈りました。

●バングラデシュ、スワローズからの報告

女性が自立して子ども達を養っていけるようになったので、一夫多妻制の習慣や家庭内暴力が減っています。また、教育を受けて将来の自分たちの姿を思い描くことができる若い女性に大きな変化が見られます。彼女たちは学問を深めて自分のキャリアを伸ばそうとしており、母親世代が同年令だった頃と全く異なる願望を持っています。

●ネパール、KTSの事例

KTSは最低カーストに属する人々の大きなコミュニティを支えるために、1983年にスタートしました。このカーストの人々は下水で人間の糞尿の処 理をするよう定められていたので、「ストリート・スウィーパーズ（道路を掃除する人々）」と呼ばれており、その仕事の報酬として、地域の家庭から、食べ残しの食料をもらっていました。衣服もほとんど持ち合わせず、また、質が悪く不衛生な食事をし、家畜とともに劣悪な住居に暮らしていたため、病気になる可能性も高かったのです。

KTSはストリート・スウィーパーの子どもたちを対象としたチャイルド・ケア・センターを開設しましたが、その数日後には子どもたちがセンターに来なくなりました。子どもたちの親が、彼らを労働力として必要としており、彼らが読み書きを学ぶことの意義を見出せなかったのです。そこで、KTSの創立者たちはある解決策を思いつきました。編み物や大工仕事、カーペット作りの職業訓練コースを、親たちに提供することにしたのです。大人たちは仕事について学び、収入を得られるようになったため、家族に普通の食事を出すことができました。また、自らが学びの力に気づいたことから子どもたちを学校に行かせるようになりました。

今日では、3歳から12歳の237人の子どもたちがKTSの運営する学校で無料の教育を受け、毎年、ネパール中から集まってきた150人の訓練生が卒業します。中には、郷里の村で大工仕事のビジネスを始める人や、経験を積んで、ピープル・ツリーのニット製品を編む女性たちもいます。今でもわずかな差別は残るものの、概してコミュニティは社会に受け入れられており、社会的・経済的な自立を得ています。子どもたちの中には、事務の仕事を得たり、自分のレストラ ンを始めたりする人もいます。つい最近、看護婦となった人もいます。20年前であれば考えも及ばなかったことです。

サフィア・ミニーとKTSの手編み職人、スニタ・ギリ（左）とチルサ・タンズカル（右）

環境

フェアトレードは環境によりよい方法や責任ある生産方法の実践に積極的に取り組みます。
（IFATのフェアトレード基準−9）

ピープル・ツリーの創始者でありエコロジストであるサフィア・ミニーは、IFATのフェアトレード基準に環境の項目を加えるよう提案しました。人と地球を尊重しながら貿易を実践することは可能だと、とサフィアは熱い信念を持っています。
ピープル・ツリーはパートナー団体と協力して、環境の負の影響を最小限におさえ、環境に良い方法を選択しています。ピープル・ツリーの生産者の63.5%にあたる33団体が、ピープル・ツリーのエコ・ポリシーが製品の生産方法を変えるきっかけとなったと回答しています。

- **ピープル・ツリーのエコ・ポリシー**
  - 森を壊さない。木製品は廃材や成長の早い木を使う
  - 水を汚さない。塩素漂白を避け、別の方法を探す
  - 空気を汚さない。ダイオキシンを出すプラスチックは少なく
  - 資源を無駄にしない。紙は再生紙か非木材繊維で
  - 農薬や化学肥料を使わない有機農法を応援する
  - 染色は発癌性物質を含まないアゾ・フリー占領で
  - 自然の原料を使った草木染めを推進する
  - アクセサリーの金具にニッケルを使わない

- ピープル・ツリーはオーガニック・コットンのサプライ・チェーンを確立し、衣料品の40%以上がオーガニック・コットンです。
- CO2を削減するために航空輸送を避けできるだけ海上輸送を使っています。
- 衣料品、バッグ、寝具類などの染色はすべてアゾ・フリー染料を使用するようになりました。
- 草木染めを推進しています。
- 紙製品にリサイクル素材やくず繊維を利用しています。
- リード・フリー（鉛を含まない）塗料／ニッケル・フリーのメッキ／非塩素系漂白剤など、環境や人体に負荷の低い材料を使用します。
- 廃棄物や廃水の処理を適切にします。
- 地元で豊富に採れる自然素材を使います。
- 手仕事の生産を大切にします。

●インド、タラ・プロジェクトからのコメント
「ピープル・ツリーと仕事をするようによって、今まで以上にアゾ・フリー染料の使用に対する私達の意識が高まりました。また、ニッケル・フリーのメッキ加工についても私達の意識は高まりました。プラスチックの使用は避けようとしています。ピープル・ツリーが私たちをこのような方向に進むよう働きかけてくれたことに感謝しています」

●インド、ムラ・コレクティブからのコメント
「ピープル・ツリーと知り合えたおかげで、私達は草木染めに関心を払うようになりました」

1. オーガニック・コットンの推進

バングラデシュではまだオーガニック・コットンが生産されていません。ピープル・ツリーのパートナー団体で手織りと刺繍の衣料品を生産しているアーティザン・ハットは、ピープル・ツリーと協力してインドからオーガニック・コットンを調達しています。ピープル・ツリーとグローバル・ヴィレッジは2006年、アーティザン・ハット代表のモンジュ・ハクがインドのオーガニック・コットン組合から糸を購入するための訪問の資金を提供しました。訪問から数ヶ月後にはオーガニック・コットン糸を積んだ船がバングラデシュに到着し、アーティザン・ハットのはた織り職人によって初めてのフェアトレードによる手織りのオーガニック・コットンの衣料品が実現しました。

> 「春摘みなのでコットンの質は大変高く、通常手に入るものより優れています。オーガニック繊維は大変手触りが良いです。緊密なパートナーシップのおかげで私達は夢を実現することができました。これによりさらに多くの織り職人が生活の糧を得て、子ども達を教育する後押しできるでしょう。ピープル・ツリーからの支援なしには実現しなかったことです」ーモンジュ・ハク

サフィア、インドのグジャラート州でモンジュやアグロセルのチームと一緒に

ピール・ツリーはさらに、2007年5月にバングラデシュでオーガニック・コットンを栽培するプロジェクトを開始しました。今日バングラデシュは衣料産業で有名ですが、驚くことにバングラデシュ産のコットンは2%にすぎません。コットンはインド、パキスタン、中国から、合成繊維は韓国、中国、香港その他から輸入されバングラデシュの安い労働力を使って衣料品が作られています。サフィアは慣行農業でコットンが栽培されているタンガイルを訪問し、オーガニック農法でコットンを栽培する際に壁となっているものは何かを農家の人達に聞きました。

タンガイルの農家の一人、モニディーンさんは、現在のバングラデシュの農業のやり方は効き目の遅い毒のようなものだと感じており、自分の健康に良く環境を守れるのなら先祖がやっていたオーガニック農法を是非取り戻したいが、そのノウハウを習得するには研修を受けなくてはならないと話してくれました。

そこでサフィアは、政府や NGO 関係者を訪ね、7 ヶ所の農地をオーガニック・コットンのプロジェクトの実験農場とするという約束をとりつけました。

バングラデシュの 3 名の農業改良普及員が、ピープル・ツリーのパートナーであるインドのオーガニック・コットン農家支援団体「アグロセル」で農業研修コースに参加し、土壌や有機肥料、フェアトレードについて学びました。

ピープル・ツリーは、持続可能な農業を支援し農家の生活を改善するためにこのプロジェクトを支援し、将来このプロジェクトで栽培されるオーガニック・コットンを買い付けると約束しています。

２. 伝統技術の復活

ピープル・ツリーは、環境にやさしい手仕事の生産を推進しています。人の手は、唯一豊富に残された資源だからです。手仕事の生産は、石油を中心とするエネルギーの使用を減らし、カーボン・ニュートラル（排出される二酸化炭素と吸収される二酸化炭素が同じ量になる）であり、大量生産による無駄が少なくなります。付加価値の高い製品を作ることで社会的弱者である人たちが収入を得る一方で、資源の使用は最小限ですみます。また、ピープル・ツリーは機械生産の普及によって廃れた手織り技術を復活させるため、手織り布を使った商品を開発しています。これによって仕事を失ったはた織り職人たちが再び収入の機会を得られるようになるのです。

貿易関係

フェアトレード組織は立場の弱い小規模生産者が社会的、経済的、環境的に快適な暮らしができるよう配慮して取引を行い、これらを犠牲にして収益の最大化を求めることはしません。団結と信頼、互いの尊敬に基づいて息の長い関係を続け、フェアトレードの促進と発展につなげます。また、可能な限り、生産者が収穫や生産に先立って前払いを受けられるよう支援します。

（IFATのフェアトレード基準−10）

フェアトレードでないバイヤーと取引のある生産者団体の大半は、発注の取り消しや支払いの遅延、極度の低価格、絶え間ない値引き交渉などを経験し、取引をやめたいと思っています。そのためにはフェアトレード市場が広がっていく必要があるのです。

ピープル・ツリーのパートナー団体の46%はピープル・ツリーと10年以上、96%は5年以上パートナー関係があります。
ピープル・ツリーは、必要に応じて発注時に半額を生産者団体に前払いしています。これによって生産者は迅速な支払いを受けられるだけでなく、生産開始のために一般の金融機関から借り入れをしなくてもすむのです。そして生産者に公正な対価を支払い資質向上に投資する力を最大限に与えてくれます。

ピープル･ツリーは、総売上の20%以上をピープル・ツリーが占めている14のパートナー生産者団体に対して、継続的に発注量を伸ばしていくことの大切さを認識しています。できる限り、毎年10%ずつ発注量を増やそうと努力しています。これによりパートナー団体は、計画をたて長期の投資を行うことができます。

●ピープル･ツリーからの発注が総売上に占める比率が高い生産者団体

【生産者団体】	【国】	【主な製品】	【ピープル･ツリーの発注が占める比率】 ※日本とイギリスの合計
キシー・コープ	ケニア	手工芸品	90%
アーティザン・ハット	バングラデシュ	衣料品	80%
アシシ・ガーメンツ	インド	衣料品	69%
フォーク・バングラデシュ	バングラデシュ	衣料品	60%
タナパラ・スワローズ	バングラデシュ	衣料品	53%
KTS	ネパール	衣料品	50%
クムディニ	バングラデシュ	衣料品	42%
SEDS	バングラデシュ	手工芸品	40%
ゴダバリ・デルタレース	インド	手工芸品	33%
RTU	インド	手工芸品	26%
ジャハナラ	バングラデシュ	手工芸品	25%
フォーシーズンズ	ジンバブエ	食品	20%
ムラ・コレクティブ	インド	衣料品	20%